

青の塔 (2000)

BLUE TOWER

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 日本

色彩 Color

時間 146分

初公開日 2004/07/24

公開情報 アルゴ・ピクチャーズ=スーパーサウルス

【解説】

TVディレクターとして家族や思春期の若者をテーマに数多くのドキュメンタリーを製作してきた坂口香津美監督が、「カタルシス」（2003年11月公開）以前に手掛けた長編劇映画デビュー作。妹の喪失という悲劇を抱えひきこもりを続ける青年が、ひとりの傷ついた少女との出会いを通して、自立へと向かう姿をリアルに描く。

運河と化学工場のある街で母と2人暮らしをしている19歳の青年、透。子どもの頃に崖からの転落事故で妹を失った彼は、未だに妹を助けられなかった自分を責め、心を痛め続けていた。母は、そんなナイーヴすぎる息子を理解することが出来ず、母子の間の溝は深まるばかりで、いつしか透は自分の部屋で昼夜逆転の、孤独な“ひきこもり”の生活を送るようになってしまう。そんなある冬の夜、透は誰もいない運河で、傷つき倒れていた少女を救出する。少女もまた透と同様、心に深い傷を抱え、かろうじて生きている存在だった。

【クレジット】

監督	坂口香津美
プロデューサー	落合篤子
脚本	坂口香津美
撮影	長谷川貴士
美術	清水大輝
編集	坂口香津美
音響監督	山下博文
音楽	中村佑介
	山下博文
録音	野口昌利
照明	舞草剛
出演	中村佑介 さわ雅子 前沢美沙
	透 母・昌子 少女・緑